

## 平成29年度 第2回山北地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成29年11月15日(水) 午前9時30分～午前11時42分
- 2 開催場所 村上市山北支所 会議室
- 3 出席委員 富樫保晴、板垣茂樹、齋藤寅二、本間美喜雄、佐藤庄平  
齋藤玲子、加藤英人
- 4 欠席委員 河面秀喜、富樫榮晴、齋藤昭夫、富樫房子、渡辺美紀子
- 5 出席職員 齋藤支所長、加藤産業建設課長  
(事務局) 地域振興課；大滝室長、富樫副参事、真田主査  
政策推進課；山田課長、東海林室長、田村係長、加藤主任
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

## 平成29年度 第2回 山北地区地域審議会 次第

日 時:平成29年11月15日(水)

午前9時30分～

場 所:村上市山北支所 会議室1・2

### 1 開 会

### 2 挨拶

### 3 議 事

(1) 地域会議の概要(案)について … 資料1

(2) 市町村合併のまとめについて

① 第1回地域審議会での質疑等に対する回答及び追加資料 … 資料2

② 「3. 合併の効果」 … 資料3

### 4 その他

### 5 閉 会

氏 名	出欠	氏 名	出欠	氏 名	出欠
齋藤寅二	レ	河面秀喜	欠	本間美喜雄	レ
佐藤庄平	レ	齋藤昭夫	欠	板垣茂樹	レ
富樫榮晴	欠	富樫保晴	レ	齋藤玲子	レ
富樫房子	欠	渡辺美紀子	欠	加藤英人	レ

## 会 議 経 過

### 1. 開会 (9:30)

事務局； 本日はお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。

本日の審議会の出欠ですが、欠席の連絡が4名からあり、また1名は昨日出席確認を入れましたが、本人と連絡が取れず伝言してもらいました。まだ、到着されていないのですが定刻にもなり、定数は足りておりますので、始めさせていただきます。

それでは、ただ今から平成29年度第2回山北地区地域審議会を開会させていただきます。最初に富樫会長からあいさつを申し上げます。

### 2. 挨拶

会 長； 皆様おはようございます。本日はお忙しい中、また雪模様の中お運びいただきまして誠にありがとうございます。

当地域審議会も今後どうするかということで、皆様から今まで協議していたき、必要とは感じながら、まだどういう形に持っていくか決定していないところですし、そのような中でこれから議事に従って進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局； はい、ありがとうございます。それではさっそく議事に入らせていただきます。これからの進行は会長よりお願いします。

### 3. 議事

#### (1) 地域会議の概要(案)について

会 長； それでは、議事の(1)地域会議の概要(案)について、事務局から説明をお願いします。

事務局； 【地域会議の概要(案)について説明】

会 長； 只今の事務局からの説明に関しまして質問などありましたらお願いします。

委 員； 地域会議というのは、この会のほかにもっと委員を委嘱する形で行うのか。

事務局； この審議会は今年度で終了するため、新たなものとしてテーマによって選出し、組織したいと考えています。

会 長； そうするとこの地域審議会は、今後地域会議として進んでいくということか。

事務局； 今程言ったように、この会議は今年度いっぱい終了し、新年度以降どうす

るかということで協議したものであり、各地区、各支所で状況が違うため、まちづくり協議会での抽出課題をテーマとするところもありそうであるが、山北地区の場合は、共助というところにスポットを当てて会議を持ちたいと考えており、その内容によりコアなメンバーはもちろんですが、その他にもそのテーマに関係する人をお願いして新たな会議を持ちたいと考えています。

事務局： 審議会は今ほど話したとおり今年度で終了しますし、これは新たに新年度どうするかといった話です。各地区、各支所でやり方が異なります。まちづくり協議会の中で出された課題について協議するところ等もあるが、山北地区の場合は、今ほど話したとおり共助というところにスポットを当てて、実施したいと考えています。また、どういった方にお集まりいただくかは、テーマごとに設定するとお話しさせていただきましたが、ある程度の設定された人数の中でコアなメンバーにそのテーマに精通している方を含めて、そのテーマごとに掘り下げていくことを想定しています。また、違うテーマとなった時には、コアなメンバー以外の方を入れ替えて開催することもあるかもしれない。コアなメンバーをどのような方にしようかというようなことは、まだ検討中であり決めていません。

委員： 非常に今の件では賛成です。審議会は、一応成果はあったと思いますが、中身をつめていくということでは、現場で頑張っておられる方たちがいて、それぞれの分野で生の声を聞いていただきたいと思います。非常にそういったことでは賛成です。ぜひ、実施していただきたいと思います。ただ、コアなメンバーということでは、選定することが難しいと思います、事務局の情報量ということもありますので、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

委員： 今までは、協働のまちづくりということで「協働」だったが、あえて「共助」としたのはどういったことなのか。

事務局： そこについては、山北町時代に先駆的な役割を果たして、この地区のまちづくりが始まっているわけですが、「協働」と「共助」に大きな違いはないと考えています。資料中にもありますが、「共助」と「公助」の考え方の中で皆さんの助け合いで進めていきたいと思いますと言ったことをメインに考えて使用しています。

事務局： 「自助」「共助」「公助」の三つの考え方の中で、この三つが合わさって「協働のまちづくり」が実現されると思っていますが、今回はお互いに助け合っていくことにポイントを充てていこうと考えています。まちづくり協議会では課題解決型の事業に取り組んでいこうとしている地域の事情もあり、その部分で行政的な施策の中で「皆さんのお力添えができるような考え方をいただきたい。」といったイメージを持っています。

委員： まちづくり協議会との関係としては、今まで触れられていないテーマをとったことは解るのですが、議論した後のまちづくり協議会との関係はどのようになるのか、また、実際に行動に移す時の関係はどのようになるのか。

事務局： 他地区の場合は、まちづくり協議会はじめ他の団体がすべて取り込まれているような組織もあり、そういった地区は其中でできると言った考え方で考えているところもあるようです。ただ、まちづくり協議会は、将来的には独立した組織としてあるべきとの考えもあり、交付金も出しておりますが行政の附属機関でもないの、こちらから何をしなさいと言ったことはできません。ただ、テーマによってはまちづくり協議会の中から委員が選出され、その方を通じてアドバイスしたり、動いてほしいとの要請はできるのではないかと考えています。他の団体等にも同じようなことが言えるのではないかと思います。

委員： 最初は行政側で立ち上げ育ててくださるが、その後独り立ちした後に切り離していく。ただ、育てていただくのは良いが、その後に行政のフォローがなく切り離されると行政の力なくしては、継続は無理です。特に山北地区みたいな小さなところは無理です。切り離すのではなく一緒になって考え行動に移さないとだめだと思うので、ぜひそのことをお願いしたいと思います。

委員： この地域会議も課題解決に向けて議論するということだが、まちづくり協議会も課題解決に取り組むこととしています。一般の人に位置づけを示さないと混乱すると思うが、皆さんに示すべきと思うがいかがでしょうか。

事務局： テーマ設定によってとなっているのですが、今考えているのは、支所で設定したテーマにより皆さんに検討いただき、施策についての参考とすることに繋がると思っています。それが③、④のところであり、今話されたまちづくり協議会の課題解決も取り組み始めたところでもあり、実行に移すところでもありますので、まったくかぶるところがないのかと言われればそうでもないとは思いますが、先ほども申しあげましたように、他の団体で取り組まれている内容以外で取り上げようとしていますので、ある程度の区分けはしていきますが、区長会やまちづくり協議会の役員会等で説明させていただきたいと思います。

#### 【委員からの質問なし】

会長： その他、なければ次に進みます。

#### (2) 市町村合併のまとめについて

##### ① 第1回地域審議会での質疑等に対する回答及び追加資料

会長： ①番の地域審議会での質疑等に対する回答及び追加資料について、事務局よ

り説明願います。

事務局： 【①第1回地域審議会での質疑等に対する回答及び追加資料について説明】

会長： ありがとうございます。この件については、皆さん何かありますでしょうか。

委員： 臨時職員と再任用職員の事ですが、臨時職員は多いのに何で再任用職員は少ないのでしょうか。経験ある方々を採用した方が良いと思うのですが、いかがでしょうか。

事務局： 再任用職員につきましては、職員の退職にあわせて希望を取ります。それで、再任用の意思を示した方のみ採用することとなります。それ以外の方は、民間企業等へ就職される方もおります。そのため、ここに残ってくださいといった言い方もしていません。

委員： 希望を確認したうえで採用しているということですね。

事務局： はい、そうです。

委員： 職員の新採用の事ですが、今まで9年間の内で職員を急激に減らし過ぎているのではないかとの声もあり、今後は少し改めるとのことのようですが見通しはどうか。

事務局： 合併当初から平成28年度までに退職者の3割補充するとして定員を管理してきました。最初のうちは、管理職の関係もあり減らすことも可能でありましたが、年数が経つうちに仕事に支障が出てきたといった現状はご承知かと思えます。保育士の臨時職員状況等で意見をいただいていた。そのようなことから、平成28年度を待たずして保育士はもちろんのこと現状維持、もしくは増員する方向へ転換させていただきました。このことは昨年度、議会も含めてお示しさせていただいたところです。

会長： それでは、ほかに内容であれば次に進めさせていただきます。

## ②「3. 合併の効果」

会長： ②番の「3. 合併の効果」について事務局の説明をお願いします。

事務局： 【②「3. 合併の効果」について説明】

会 長： ただ今の説明につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。

委 員： 説明の中で人件費の削減ができたとのことがあったが、具体的にどのくらいの削減ができたのか、教えていただきたい。

事 務 局： 前回の資料でもお示しさせていただきましたが、平成 20 年度合併当初で約 70 億円であったものが、平成 27 年度の段階で約 54 億円と約 16 億円の削減につながったものです。人数については、一般職員の人数ですが、平成 19 年度合併以前になります。1,014 名が平成 28 年度で 760 名となっています。

委 員： 効果のところはたくさん上がっていて、課題がポツポツとしかないが職員の皆さんが課題として認識していないのでしょうか、いかがでしょうか。

事 務 局： 資料については、各課に照会して出させていただいたものです。各課からは課題としてこのほかにも上がってきているのですが、業務上の行政内部で調整を図るべきものとの判断から掲載はしておりません。

会 長： 皆さんからは、改めてこの課題については何かありませんか。

委 員： 何点かあります。まず、資料を拝見した時に効果はあったが、課題が少ないと同じように思いました。そこで 3 点ほどお伺いしたいのですが、まず一つですが、施設によっては無料だったものが有料になったとありますがどこの施設だったのでしょうか。2 つ目は女性職員の採用の面で向上しているのかどうか、また管理職員の登用についてはどうなのか。それから地域づくりの部分ですが、平成 20 年度から山北地区には旧山北分校のコミュニティセンターの改修が計画されていましたが、10 年間何の動きもなく過ぎてしまいました。予算も 2 億円もありながら、行政が動いていたのかいなかったのかそれすら見えなかったです。高齢者をはじめ活発に活動しているのですが、施設が老朽化しています。それに狭く、情報センターや生涯学習センターのような施設が一つもありません。何かあれば体育館を使用しなければなりません。皆さんが希望しているのは、集まれる場所です。今山北地区では、このさんぽく会館を改修する計画があるそうですが、地域住民に意見を聞きたいと機会を設けていますがその後それがどうなっていくのかをわかる範囲で結構ですが、お尋ねしたいと思います。

事 務 局： 先ず、一点目につきましては地区ということですが神林地区です。パルパークの施設ですが合併前は無料でありましたが、合併後は有料となりました。このことから神林支所から課題として上げられてきました。

事 務 局： 次に女性の採用や管理職の登用の数についてですが、先ず委員会構成については各委員会に置いて女性を入れるということで進めています。市職員の採用については、女性だから採用するというのではなく、一般試験での採用になる

ため年によって比率が変わってきます。ここ数年は一般職では男性の採用が少し多くなっているようです。ただし保育士は女性の方が多い傾向にあります。

管理職の登用については、これまで多くなかったことから課長職に打診しても、尻込みする職員もあることは事実です。しかし、そうも言っていないので課長職は現在3名ですが、補佐級はそれなりに増えております。また、係長級については男女の区別はない方向に徐々に向かっております。後は年齢構成と男女の比率で出てくるのは仕方ないのかなと思っています。職員については以上です。

事務局： 三つ目の件ですが、山北地区に来るたびにご意見をいただいていたわけですが、合併市町村基本計画に登載されていた事業ですが、着手されずにおかれていたということでは申し訳なく思っております。今回方向的にはさんぽく会館の改修ということになりました。それにつきましても各委員からご意見があったように山北地区の住民から幅広くご意見を聞いて行うということで、主管は生涯学習課になりますが、そちらで3回ほどワークショップを開いて構想を考えさせていただいているということです。業者も入っており、その結果を踏まえて具体的に改修に入らせていただきたいということです。

委員： 今聞いた中でのお願いですが、女性の登用については分かりました。民間の会社とは非常にまだ開きがあるなあと感じたわけですが、これからは時代の流れを追い越してやっていただくようスピード感を持って行っていただきたいと思います。資料にある職員の研修についても行政の中だけではなく民間に派遣して行うなど他業種の研修も取り入れられたら良いのではないかと感じました。

さんぽく会館の修繕の件は、お聞きすると今の規模と大して変わらない程度の改修だと聞いています。予算が2億円もあったにもかかわらず、片や大規模な事業だったものが修繕で終わらせてしまうのかなと、私的には残念な思いもございますので、できれば場所を移転してでも2階建てにするとか研修施設を備えるとか、一番は図書館を希望したいのです、若い人たちが集まれる場所がないのです。人口が少ないからこの程度で良いだろうというのではなく中央まで行くには交通手段も不便であるため、こうした離れている場所こそ良いものを設置していただいて、皆さんが気持ちよく活動できる場所にしていただきたい。もう少し慎重にさんぽく会館の修繕を考えていただきたいと思います。

事務局： さんぽく会館については、今はご返事できないので、担当課に伝えますとしか言えませんがよろしいでしょうか。

委員： なかなか言える機会がないのでこの機会に発言させていただきました。

委員： スクールバスの各地域間での融通とありますが、実は今年度山北地区の割り



当てのあった持ち時間を超えまして、部活の遠征ができなくなりました。山北の場合は、村上に行くのにも40、45分かかるためその分の配慮をしていただいでしかるべきと思うがいかがでしょうか。子供たちがこの地区に留まらず他所に行って試合をし、勉強することは大切だと思うのですが、その辺は離れたところだから我慢しなさいということは無しに、ぜひお願いしたいと思うのですが。

事務局： スクールバスの時間配分については、当然山北から新潟市まで行く時間と荒川地区から朝日地区までの学校がかかる時間が違うことは考慮して配分しています。そのため、距離等を係数化して明確化し、誰が見てもその根拠が分かるように考えて配分しています。また、各校の教頭先生と事務職員等への説明会を開催して進めていました。スクールバスは学校のモノではなく、これまでは使った者勝ちの風潮もあったように感じられ、経費も青天井ではないことを理解してもらいたいと思います。事務局とすれば、距離も、十分考慮して配分していますので、子供たちのためにある予算を有効に使っていただきたいと思っています。

委員： 幾つかあるのですが、合併の効果という点ですがこれが合併の効果と言えるのかという点です。先ず、学校の学区を越えて就学が容易になったというのは具体的にどういったことなのでしょう。

事務局： 例えば、山北地区の生徒が朝日の学校に行くことが、合併により可能になるといった手続き上の話と思います。

委員： 具体的にあるのでしょうか、例えば学区が変わったとか。

事務局： 基本的には理由がないと学区の範囲は越えられないのですが、国外からの転入により地区内の学校に言葉を話せる先生がいなかったため、隣の地区の学校で対応できることからそこへ通学することとなったといったことがありました。

委員： それは特殊な事例であって、それはかつてでもあった事です。地域の特性だとか郷育教育を継続する観点において学区を越えて違うところに行くことがあるのか。例えば、地区の子どもが親の仕事も学区外でありそちらの方が便利だからそっちに行くなども有ったりするのでしょうか。そういったものは特殊ケースであって、一般的に学区を越えて就学ができるのであれば合併による効果と言って良いとは思いますが、特殊なケースも合併の効果だというのはいかなものかと思います。例えば思いついたのですが、朝日と村上は非常に接近していて、村上東中学校に朝日の生徒が学区を変えていけるようにしたというのであれば、合併の効果と言って良いと思います。そうでなければ、合併の効

果と謳えないと思います。

次に、職員の専門性についての効果ですが、職員を減らしている中で、本当に専門性の職員を増員しているのかという点に疑問があります。合併以前の専門職を維持して、その他の職員を減らし提示していたのかなと思っていたのですがそうではないのでしょうか。実際のところはいかがでしょうか。

事務局： 最初の保健師ですが、相対的には増えている状況です。栄養士に関してはほぼ同数で、各支所にも保育園の関係もあり最低1名は配置しています。土木技師と建築技師ですが、旧市町村では技師を一般職員で採用していたところもあり専門の採用試験を受けていただいております、それが入れ替わっているのかなと言った状況です。また、障がい児教育専門職については、障がい児が増えていることもあり一人二人増えている状況にあります。ここに書かせていただいているのはそういった状況にあります。

委員： ここにある「より多様な個性ある行政施策の展開」とあるが、具体的な事例があるのでしょうか。

事務局： これだと言ったものは正直ないと思っています。地方の時代として国からの仕事が自治体に移管されるなど現状に余裕がなく、多様な個性あると言ったところまでは、正直話出来ていないと思います。

委員： 例えば、障がい児教育の専門職が増えているとおっしゃいましたし、各学校でも支援する体制ができてきていると思うのですが、例えば一緒に研修するなど組織的に物事を展開するなど市全体で取り組みを進めていることなどがあれば個性ある行政施策の展開になるのであろうと思うのですが、具体的な取り組みがあるのでしょうか。

事務局： 了解しました。具体的な内容等については、今確認できませんので、ご指摘の点を関係部署に伝え、そのようなことをプラスできるのか確認させていただきます。

委員： あと2ページ目に「歴史的風致維持向上計画を策定し」とありますが、私も参画させていただきましたが、これを合併による効果と言って良いのか疑問です。仮に合併しなかったとしても、旧村上市で取り組んでいけばなったと思います。そのようなことが多々あります。それを合併の効果として取り上げて良いのかと思いますが、もう少し吟味していただければと思いました。

委員： 今後の地域のまちづくりに関する参考にしたいのですが、政策推進課がとりまとめた合併の効果ですが、これに対して言いたいことは山ほどあります。旧村上市は、以前から比べれば良くなった。しかし、他地区は極端に考えれば、

旧町村と比べ住所を書くのに「字」が必要なくなったことくらいで何もない。と言ったくらい地域差があります。

当初村上市が一体となって良くなることは良いことだといった思いがあったが、ただしピラミッド方式ではダメで台形方式でなければダメで住民のニーズは同じでなければならない、一定の底上げがないとだめですと言って、そうします、とのことであつたはずです。山北には、体育館はあるけれど、みんなが集まれる文化会館がないのです。朝日や村上にはあるが、500人、1000人集まれる文化をする場所がないのです。支所庁舎と同じように、8、9億円の予算があつたわけですが、山北支所の新築工事はいくらになつたと思ひますか。3分の1もしか予算が無くなつた中で、工事完了となつてしまいました。それでは立派な合併とは言えないわけなんです。

今後は、これからの地域づくりをどうやっていったら良いかとの案があるわけですから、委員が目を配っていかなければならないですので、解決に向けてやっていかなければならないと思ひます。

まちづくりに関しては、山北地区の区長さん全員が気持ちを一つにしているわけではありません。指導していかなければできない部分もあるので、今後はそういったことも取り組んでいかなければなりません。そのようなことで課題があると思ひています。

合併して良かったという人は一人もいません。少子高齢化で集落行事も隣の集落と一緒にやらなければならないような状況であるが、それもなかなかできない状況もあり、これからのまちづくりの課題であると私は思ひていますので政策推進課も実態はどうなのかを頭に入れてながら様々なことをしていただければありがたいと思ひます。

合併の効果はないわけではないが、今10あるうちの1かどうかを論議する立場にはないのです。終わったことはともかく、これからの事で良い知恵を出し合い村上市全体が良くなるようにやっていかなければならないと思ひます。

この地域にも、週に1回移動図書館車が来ますが、日にちと時間が決まってもその時間に行けない人が多い地区です。100人のうち1人は行けても残りの99人は行けない人です。自分が思つた時に自由に本を借りられない方たちです。政策を計画する時には、ぜひこのような住民を対象に考えてもらいたいと思ひます。

これからの山北地区は、これまでの事を踏まえて計画を作つていってほしいと思ひます。

会 長： 他にありませんか。

委 員： 勤務地に近い保育園を選択できるとありますが、確かに施設的には配置されましたが、心配された荒川地区の指定管理の保育園もそっちの方が良くなって、村上もいずれは指定管理でと、子ども会議で聞いていますが、子供が減つても3歳未満児の利用が非常に増えており、年度途中での、特に産休明けの人たち

が待機児童になっていることが問題で、年度当初からだと言われているのですが、個人情報等の事もあります。ぜひお産された方へいつから保育園に預けたいのかを希望をとるようにしてほしいと思います。または、緊急の時に応援してくれる退職された方たちの応援団的な組織を作るなどを考えていかないと、ましてや近隣の自治体では保育園を無償にとも言っているようですし、サービスの差があると益々若い方が出ていくことになると思います。そしてもう一つは、病児保育は坂町に一つでき、市長は村上病院ができればとも言っていますが、ぜひ山北にも小児科へ行くにも遠いです。徳洲会病院辺りに設置していただきたいですし、選択できる施設としては設置できていますが、実際の保育という点では課題なのではないかと思えます。

事務局： 今ほどの未満児という点では、すごく増えています。少子とはいえ未満児を預けることは増えており、少なくとも保育士を付けなければならず、そのために臨時職員が増えていると言いましたが、それも職員が減ったから臨時職員を増やしたとの対応ではないことを理解していただきたいと思えます。また、臨時職員を探すのも大変な状況があり、人を通じて声を掛けたりしていますが、なかなか厳しい状況にあります。賃金を改善したりしても難しい状況です。

また、病児保育については、村上病院と一緒に整備するという方針がまとまっています。

市長が良く言うのですが、山北地区に徳洲会病院があるのでそちらと合わせて山北地区にもできないかと話していたりもしますので、担当課に伝えながら対応していきたいと思えます。ただ、何年後に作りますと言った話にはなりません、担当課には伝えます。

会長： はい、その他あとはよろしいでしょうか。

#### 4. その他

会長： それでは次、「その他」何かありますでしょうか。

事務局： 事務局からはありません。

会長： はい、それでは次回ですが、予定では第3回地域審議会が終わるわけですが、また、今回と同じような内容で話し合いがもたれるのでしょうか。

事務局： 第3回の審議会では、前回の内容とか、今回の合併の効果という点で意見もございましたのでその辺を精査いたしまして、合併のまとめとしてひとまとめにしまして、それをご審議いただこうと思っています。

会長： 他の地域の意見も入れてでしょうか。

事務局： それも入れながら、前回と今回の内容を一つの形にしたものを皆さんで審議  
いただく予定であります。

会 長： 次回の会議で、問題や課題が出てそれももう間に合わないということですね。

事務局： 今回出していただいた課題等については、事前にまとめさせていただいて第  
3回を開く前に、委員の皆さまに提示し、それに対しての意見を書面で提出し  
ていただくことを予定しています。

委 員： 先ほど発言のあった生涯学習センターの件ですが、ダメになった経過とさん  
ぽく会館の改修について話してもらいましたが、再来年学校が統合になり学校  
が一つ空いてしまいます。そこは同じような条件であるという事、そこは耐震  
の問題はありません。ですので、住民のいろいろな活動の場、集まりの場とし  
て活用できる可能性のある施設でもあるので、その辺の検討もぜひしていただ  
きたいと思います。

生涯学習センターの計画はつぶれましたが、それ以前にも統合された各学校  
のいろいろな思い出の品が残っており、記念に残しておかなければならないよ  
うなモノがたくさんあったわけですが、それが放置されており、朽ち果てたよ  
うな状態であり、一度ダメになったものは元に戻りませんが、そのような部分  
も大切に保管できる場所が必要であると思いますので、検討して行ってほしい  
と思います。

会 長： 他にはないでしょうか。

それでは、本日予定した内容はすべて終了しましたので、事務局にお返し  
いたします。

事務局： はい、長時間にわたりまして大変ご苦勞様でした。

以上で閉会となりますので、副会長の方から挨拶をお願いいたします。

## 5. 閉 会

副 会 長； 山北地区地域審議会としては、あと1回を残すのみとなりました。

残念ながら、委員の出席率が悪い状態になりましたが、最後に委員がぜひと  
も全員出席で終われたら良いなと願いまして閉会とさせていただきます。本日  
は大変どうもありがとうございました。

閉会 (11:42)